

中小企業景況調査報告書

令和3年7月～令和3年9月期実績 / 令和3年10月～12月期見通し

令和3年10月

宮崎県商工会連合会

中小企業景況調査要領

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、全国商工会連合会が中心となり、昭和54年度から四半期ごとに全国一斉に実施しているものです。本県分の調査結果は次のとおりです。

1. 調査対象期間

令和3年7月～令和3年9月期を対象とし、調査は令和3年8月23日から9月1日の間に実施しました。なお、令和3年10月～12月期は予測値となります。

2. 調査方法

商工会の経営指導員による訪問面接調査により実施。

3. 対象地区

宮崎市生目、中郷、北郷町、三股町、えびの市、国富町、木城町、川南町、諸塚村、日之影町の10商工会地区。

4. 回答企業数

150企業のうち、145企業の回答を得た(有効回答率96.7%)。

業種	調査対象企業数(%:構成比)	有効回答企業数(%:構成比)	有効回答率(%)
製造業	31 20.7%	29 20.0%	93.5%
建設業	23 15.3%	23 15.9%	100.0%
小売業	42 28.0%	39 26.9%	92.9%
サービス業	54 36.0%	54 37.2%	100.0%
合計	150 100.0%	145 100.0%	96.7%

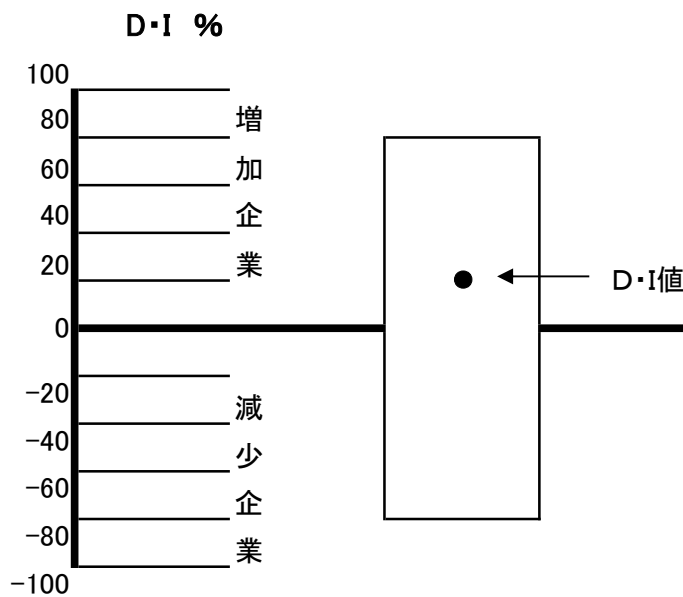
5. その他

(1) D・I

この報告書の中で、「D・I」とある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略です。これは企業経営者の景気動向を表わす指標として利用されています。算出方法は、今期と前期、今期と前年同期、あるいは今期と来期「見通し」との比較を行い、増加(上昇・好転)企業の割合から減少(低下・悪化)企業等の割合を差し引いたものです。D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観) 原材料又は商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

例えば、売上高で(増加)企業40%、(不変)企業40%、(減少)企業20%の場合、D・Iは40(増加)－20(減少)＝20となり、全体として経営者の売上に対する強気の度合いを表わしています。

グラフで示すと下のようになります。



(2) 天気図

D・I値をお天気マークで表示

DI値	特に好調 $30 \leq DI$	好 調 $15 \leq DI < 30$	まあまあ $0 \leq DI < 15$	やや不振 $\Delta 15 \leq DI < 0$	不 振 $\Delta 30 \leq DI < \Delta 15$	きわめて不振 $DI \leq \Delta 30$
表示						
	晴	晴時々曇	うす曇	曇	曇時々雨	雨

I 全産業全体の状況

主要景気動向指数(D・I)

項目	令和2年	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
	前々々期	前々期	前期	今期	今期	来期見通し
売上高	▲ 35.3	▲ 33.7	▲ 29.6	▲ 15.8	▲ 31.1	▲ 23.9
採算	▲ 30.7	▲ 27.7	▲ 17.2	▲ 18.6	▲ 32.4	▲ 26.4
資金繰り	▲ 26.4	▲ 19.7	▲ 7.7	▲ 9.7	▲ 26.1	▲ 21.0
業況	▲ 39.1	▲ 25.4	▲ 16.0	▲ 15.7	▲ 29.3	▲ 18.2

いずれも前年同期と比較したものの。

<主要景況項目の概況>

◎売上高

今期(令和3年7月～令和3年9月)の売上高のD・Iは、▲31.1ポイントとなって、直前四半期の▲15.8ポイントより悪化した。製造業は改善傾向を示したが、建設業、小売業、サービス業では悪化した。来期については▲23.9ポイントと当期よりも改善を見込んでいる。

◎採算

採算のD・Iは、▲32.4ポイントとなっており、直前四半期の▲18.6ポイントから悪化している。全ての業種で悪化した。来期については、▲26.4ポイントと当期より改善を見込んでいる。

◎資金繰り

資金繰りのD・Iは、▲26.1ポイントで、直前四半期から悪化した。全ての業種で悪化した。来期については、全体で▲21.0ポイントであり、当期より改善を見込んでいる。

◎業況

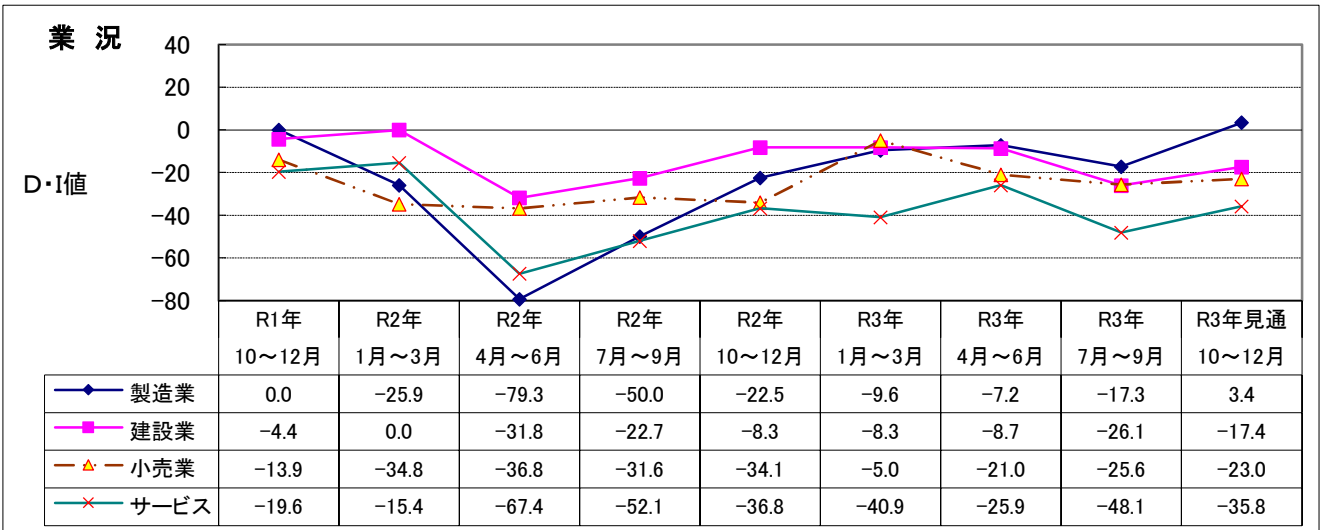
業況のD・Iは、▲29.3ポイントで、前期に比べて大きく落ち込んだ。来期は▲18.2ポイントと改善を見込んでいる。

内閣府の令和3年9月発表の月例経済報告では、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きのテンポが弱まっている。先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響、サプライチェーンを通じた影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。」としており、景気は回復過程にあるとしている。日本銀行宮崎事務所の10月1日付の宮崎県金融経済概況では、「宮崎県の景気は、このところ足踏み状態となっている。個人消費は緩やかに持ち直しているが、観光は厳しい状況が続き、公共投資は高水準で推移している。」としており、基調判断としては、足踏み状態にあるとし、前回と変更はない。本調査では、県内中小・小規模事業者の景況感、調査対象期間中の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の適用により、悪化しているところである。

製造業	売上は改善し、採算と資金繰りは悪化という結果となった。次期の見通しは、売上、採算、資金繰りの全てで改善を見込んでいる。
建設業	完成工事額、採算、資金繰りの全てで悪化という結果になった。次期の見通しは、完成工事額は悪化、採算は改善、資金繰りは横ばいを見込んでいる。
小売業	売上、採算、資金繰りの全てで悪化という結果となった。次期の見通しは、売上と資金繰りは改善し、採算は悪化を見込んでいる。
サービス業	売上、採算、資金繰りの全てで悪化という結果となった。次期の見通しは、売上、採算、資金繰りの全てで改善を見込んでいる。

＜経営上の問題点について＞

製造業、サービス業では、「需要の停滞」が、建設業では「材料価格の上昇」が、小売業では「仕入単価の上昇」が1位となった。新型コロナウイルス感染症変異株の拡大で、調査対象期間中には、県による緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の適用により飲食店への時短要請、会食やイベントの制限などの行動要請が行われた。この影響が大きく表れている。10月以降、本県も含めて全国的に感染状況は落ち着いてきているところであるが、冬場に向けて感染第6波への備えは欠かせないところである。

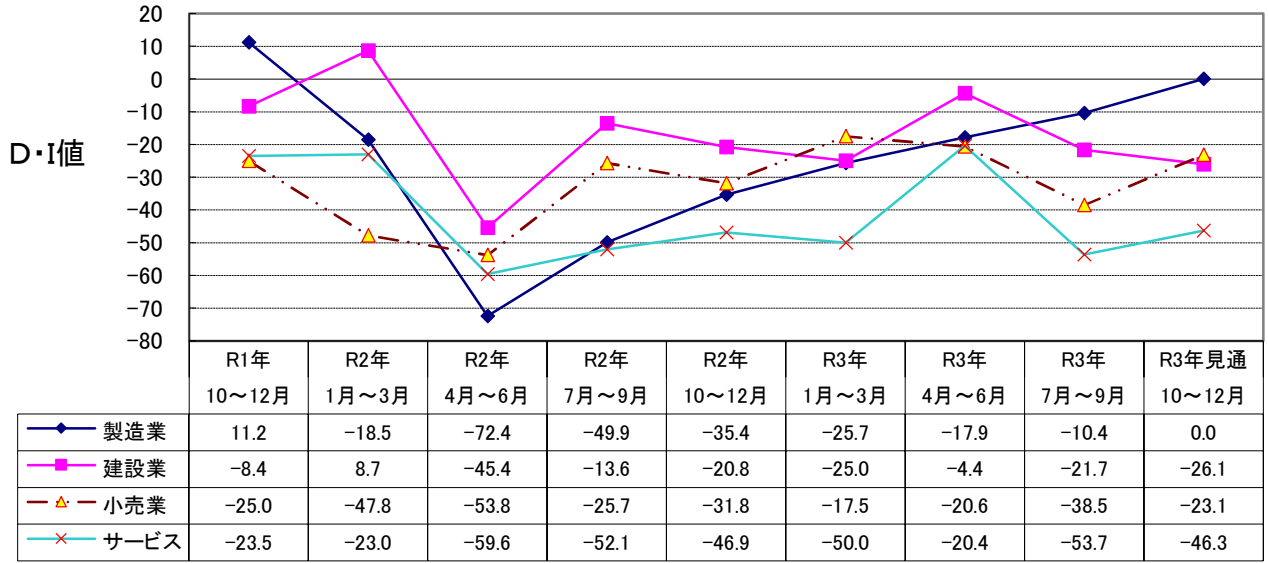


(業況天気図)

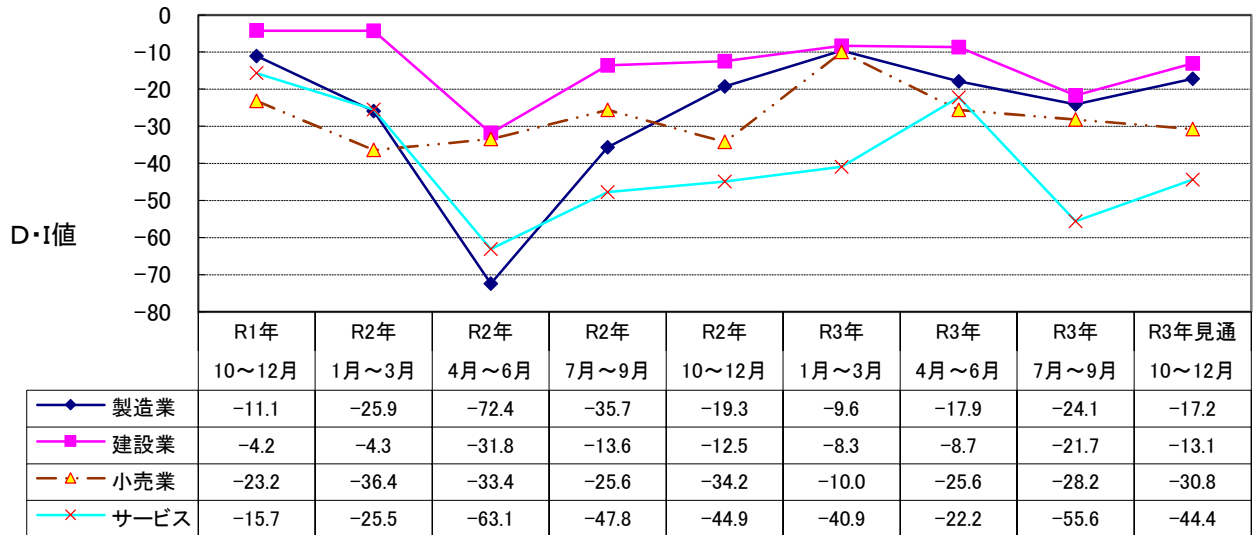
業種別	製造業	建設業	小売業	サービス業
7月から9月 実績				
D-I値	▲ 17.3	▲ 26.1	▲ 25.6	▲ 48.1
10月から12月 見通し				
D-I値	3.4	▲ 17.4	▲ 23.0	▲ 35.8
傾向	→	→	→	→

(注) 好転 ↗ 横ばい → 悪化 ↘

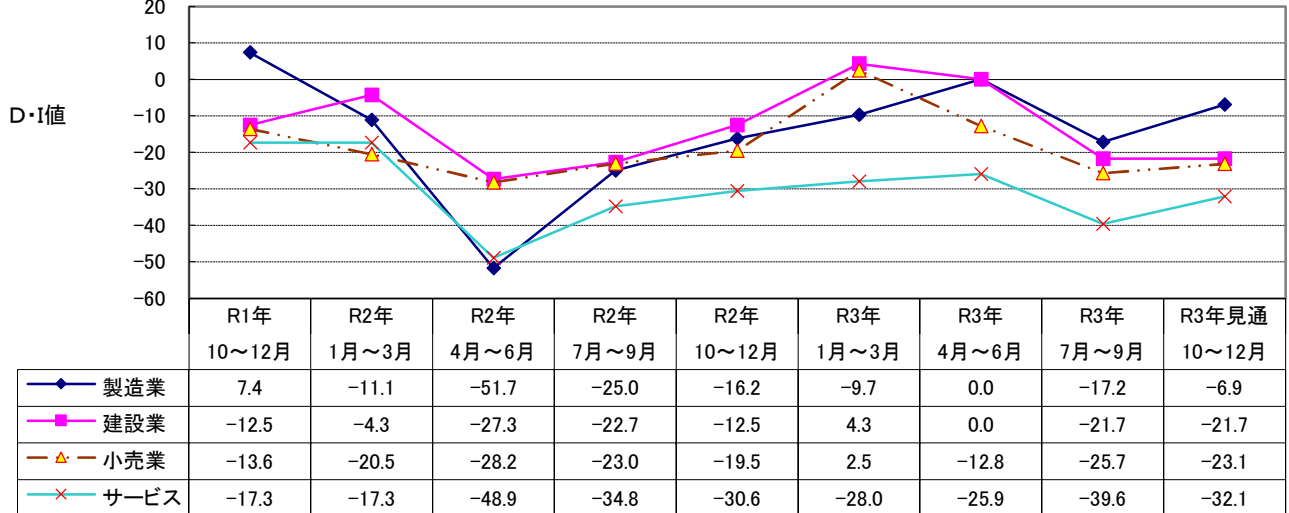
売上額(加工・完成)の推移



採算の推移(経常利益)



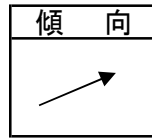
資金繰り



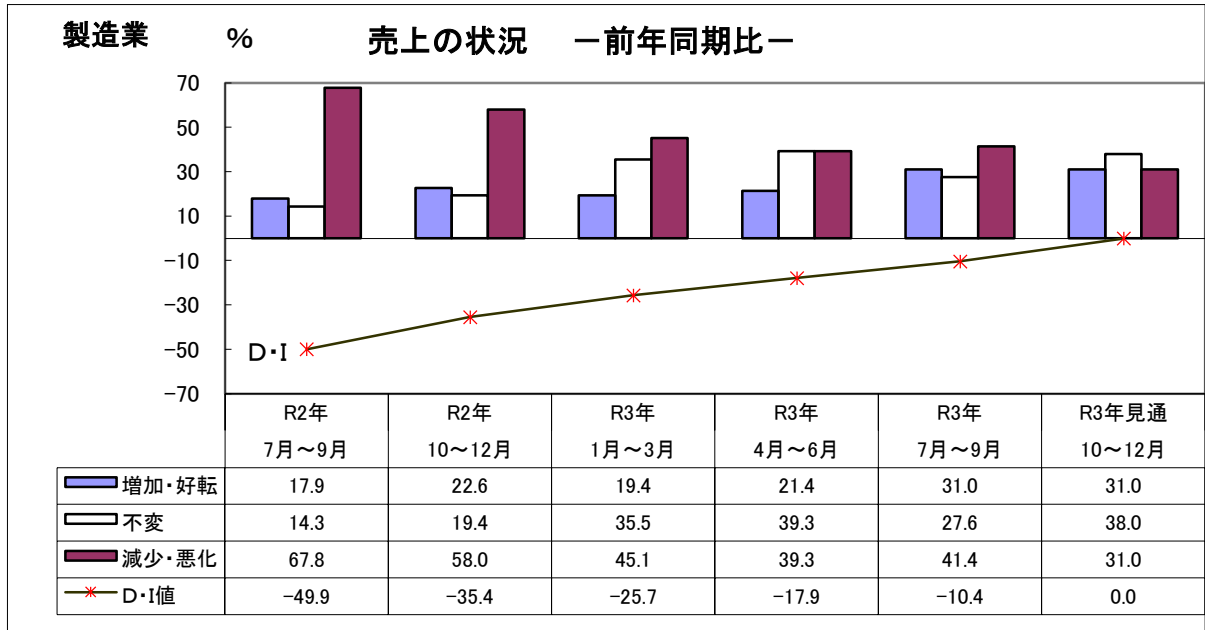
II 製造業の景況

(1) 売上(加工)額の推移

3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
曇	うす曇
▲ 10.4	0.0

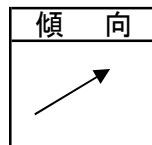


当期の売上高のD・Iは、「減少・悪化」の企業が増加したが、「増加・好転」とする企業も増加したため、D・Iは-10.4ポイントと、前期と比べて改善した。次の四半期は「増加・好転」の企業が当期と同じであるが、「減少・悪化」の企業が減少するため、D・Iは当期から改善する見込みとなっている。

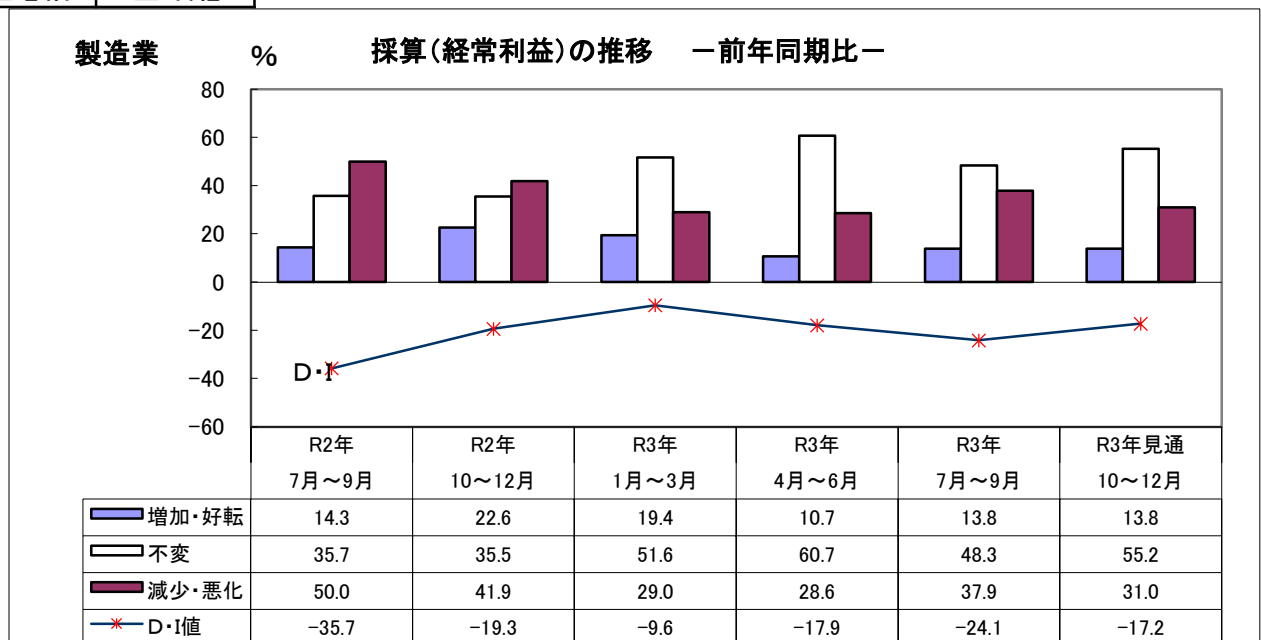


(2) 採算(経常利益)の推移



3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
曇時々雨	曇時々雨
▲ 24.1	▲ 17.2

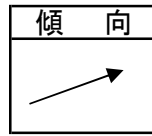


当期の採算のD・Iは、-24.1ポイントで、直前四半期の数値から悪化した。「増加・好転」の企業が増加したが、「減少・悪化」の企業も増加したためである。次の四半期は「増加・好転」の企業は当期と同じであるが、「減少・悪化」の企業が減少するため、当期からは改善する予想となっている。

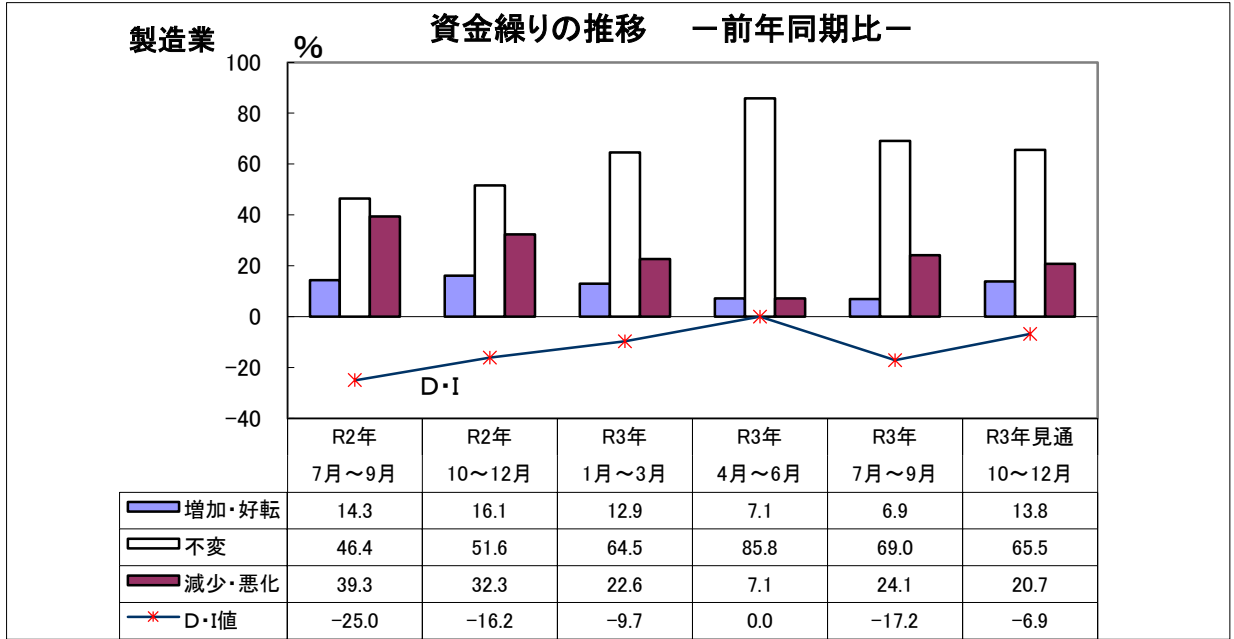


(3) 資金繰りの推移

3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
	
曇時々雨 ▲ 17.2	曇 ▲ 6.9

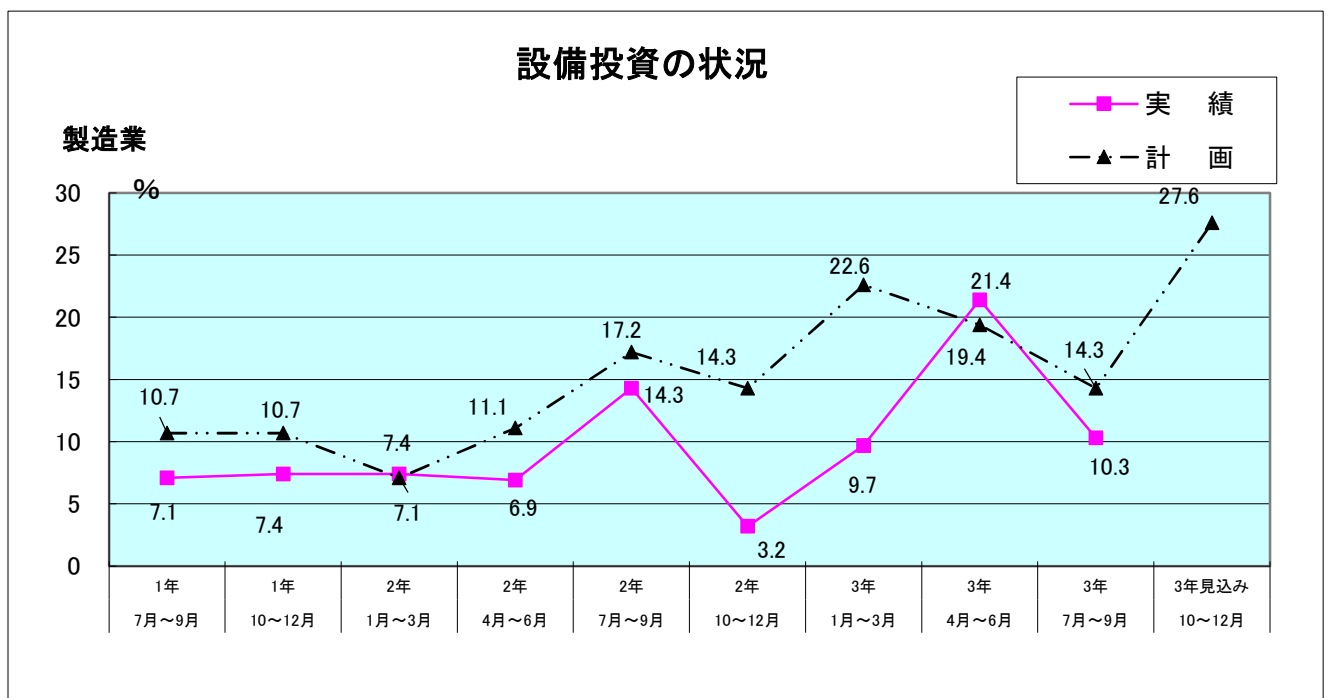


当期の資金繰りのD・Iは、▲17.2ポイントとなり、前期より悪化した。「増加・好転」の企業はほぼ横ばいであったが、「減少・悪化」の企業が増加したためである。次の四半期については、「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少するため、資金繰りのD・Iは、当期より改善を見込んでいる。



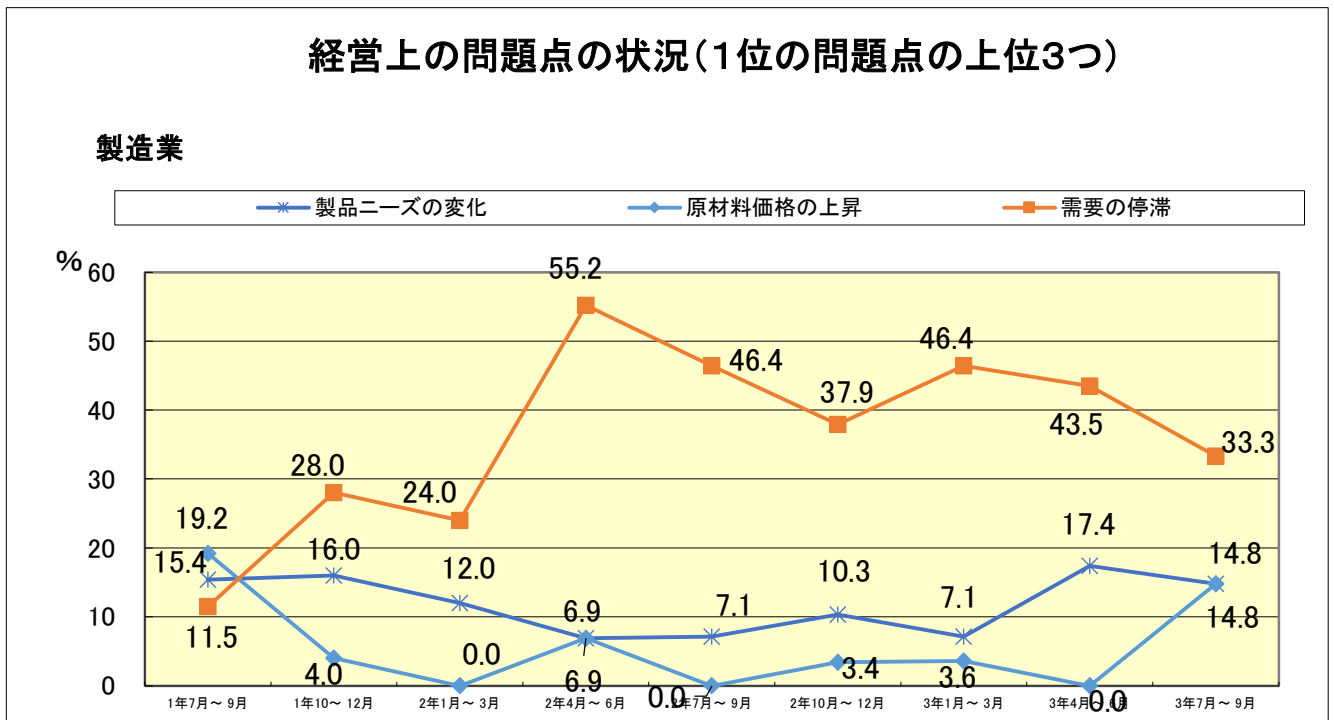
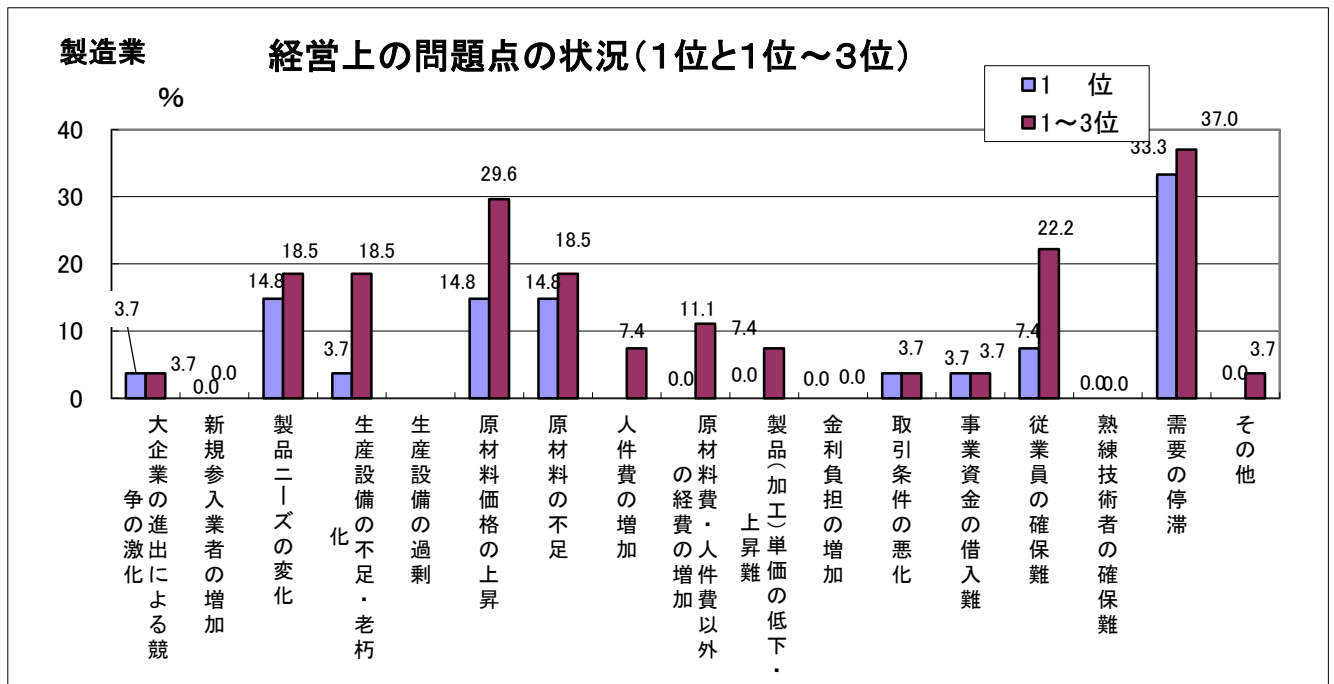
(4) 設備投資の推移

当期の設備投資計画は14.3%の企業が実施の意向を見せていたが、実績は10.3%となり、実績は計画を下回った。
次の四半期は27.6%の企業が計画している。内容は生産設備、工場建物等となっている。



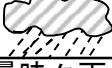

(5) 経営上の問題点

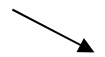
経営上の問題点について回答を求めたところ、(1位グループ)の合計で多かったのは、1位が「需要の停滞」となり、2位が同率で「製品ニーズの変化」、「原材料価格の上昇」、「原材料の不足」となっている。(1位～3位グループ)では、1位が「需要の停滞」、2位が「原材料価格の上昇」、3位が「従業員の確保難」となった。今回の調査でも1位グループ、1位～3位グループともに「需要の停滞」が1位となったが、「原材料価格の上昇」が新たな問題として上位に回答されている。



Ⅲ 建設業の景況

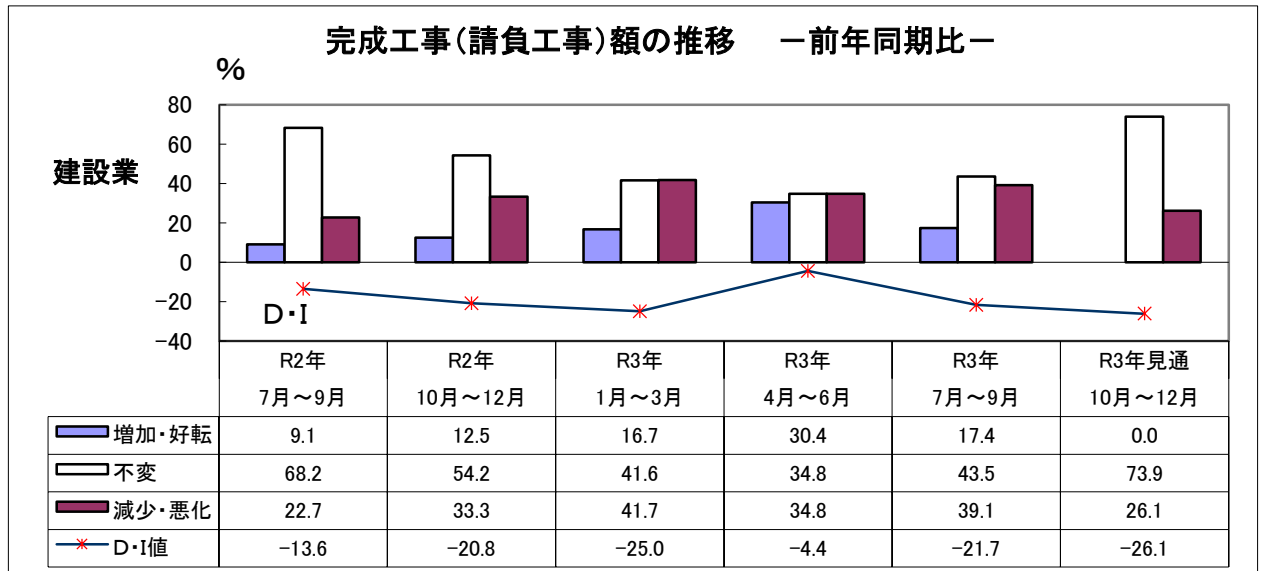
(1) 完成工事額の推移

3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
	
曇時々雨	曇時々雨
▲ 21.7	▲ 26.1



傾向



当期の完成工事額のD・Iは、-21.7ポイントとなり、前期から悪化した。「増加・好転」とする企業が減少し、「減少・悪化」とする企業が増加したためである。

次の四半期については、「減少・悪化」の企業が減少するが、「増加・好転」の企業も減少するため、完成工事額のD・Iは、当期より悪化し、-26.1ポイントとなっている。



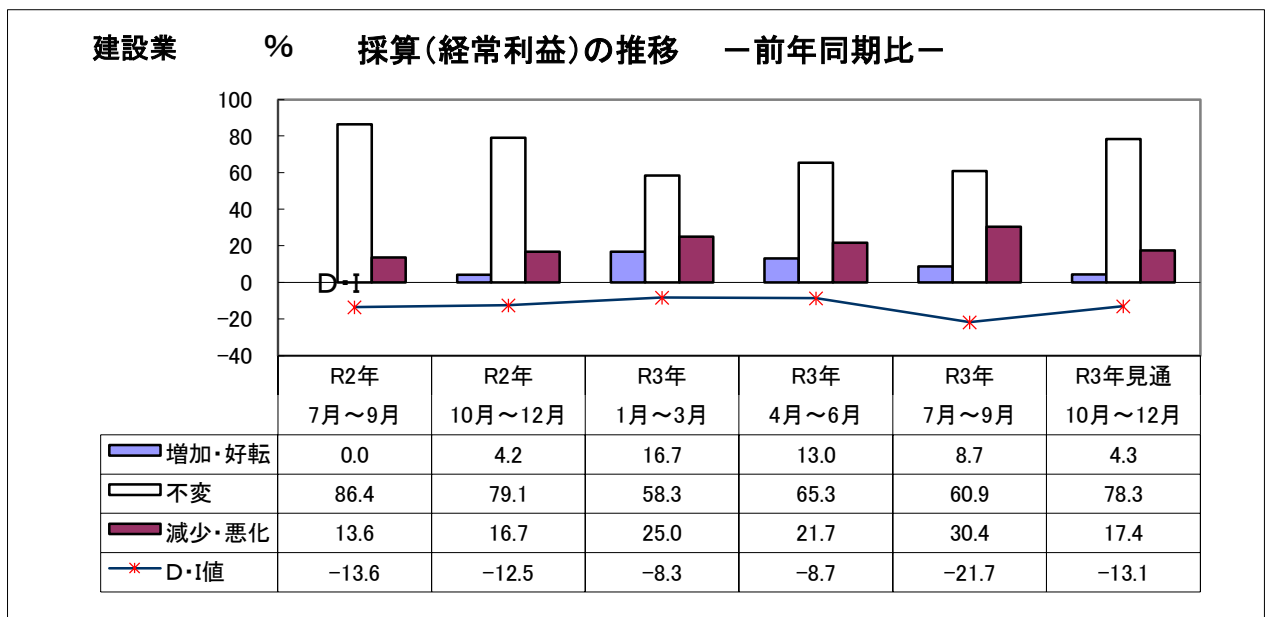
(2) 採算(経常利益)の推移

3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
	
曇時々雨	曇
▲ 21.7	▲ 13.1



傾向


当期の採算のD・Iは、-21.7ポイントであった。前期から悪化した。「増加・好転」とする企業が減少し、「減少・悪化」とする企業が増加したためである。

次の四半期は、「増加・好転」とする企業が減少するが、「減少・悪化」とする企業も減少するため、D・Iは、当期より改善し-13.1ポイントとなっている。

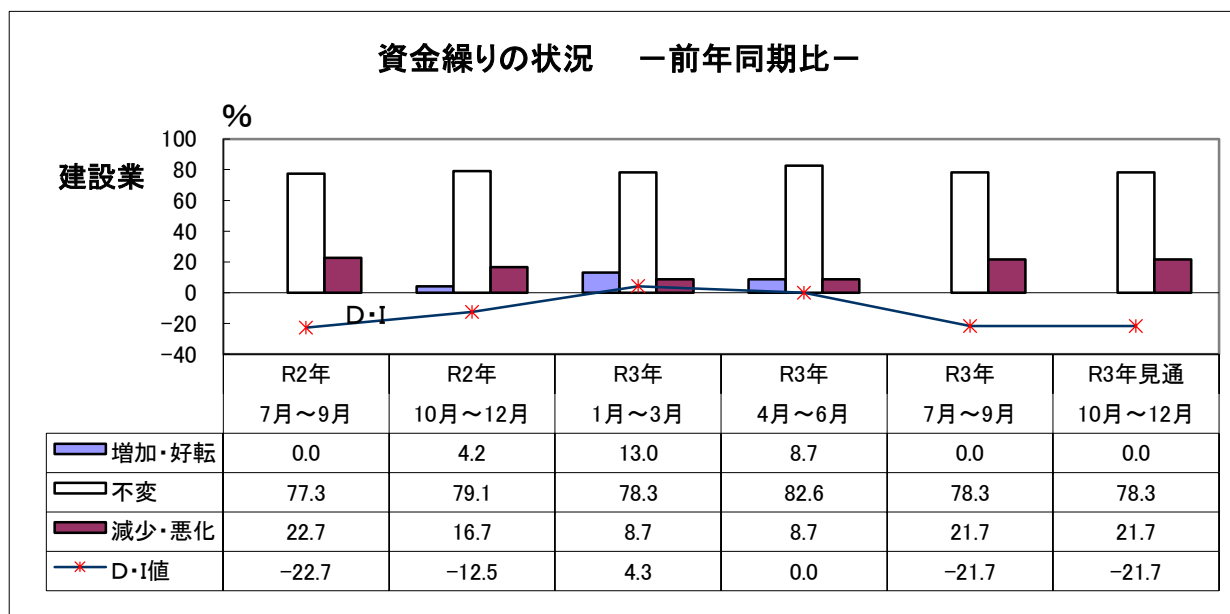


(3) 資金繰りの推移

3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
	
曇時々雨	曇時々雨
▲ 21.7	▲ 21.7

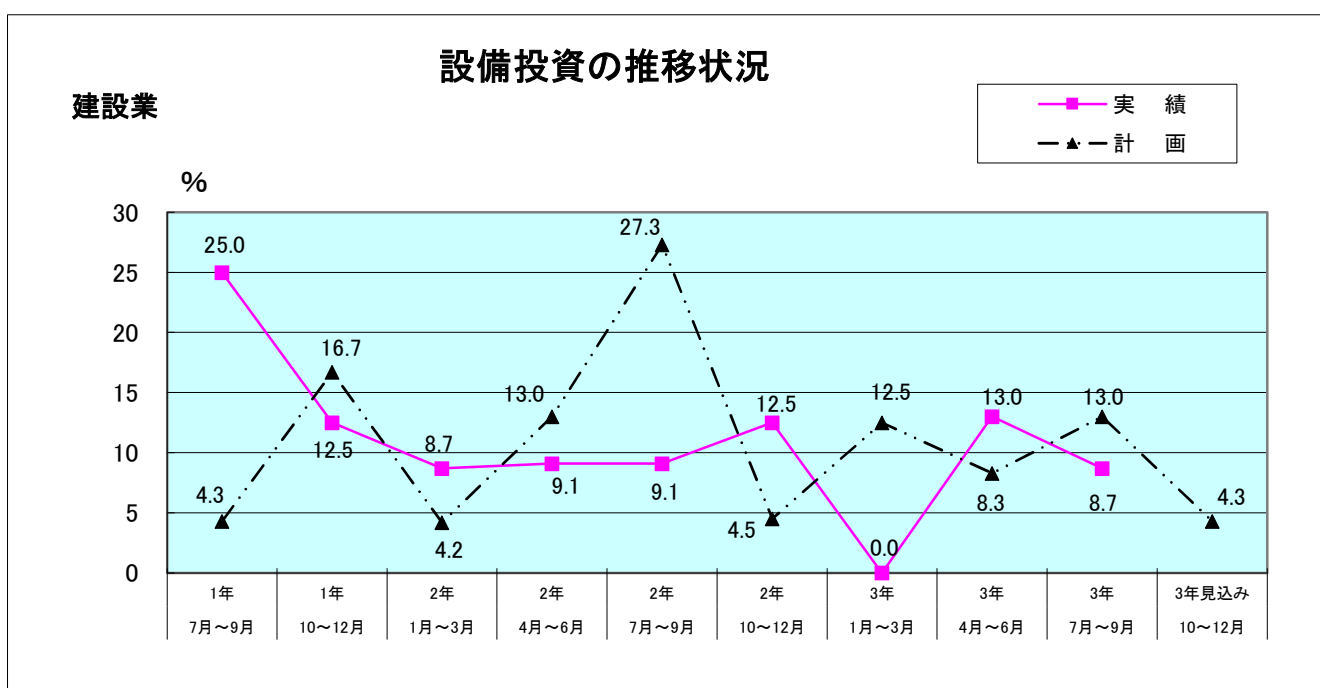
傾向
→

資金繰りのD・Iは▲21.7ポイントと、前期より悪化する結果となった。「増加・好転」とする企業が減少し、「減少・悪化」とする企業が増加したためである。次の四半期については、「増加・好転」とする企業と「減少・悪化」とする企業が当期と同じであるため、D・Iは、当期と同じ-21.7ポイントである。



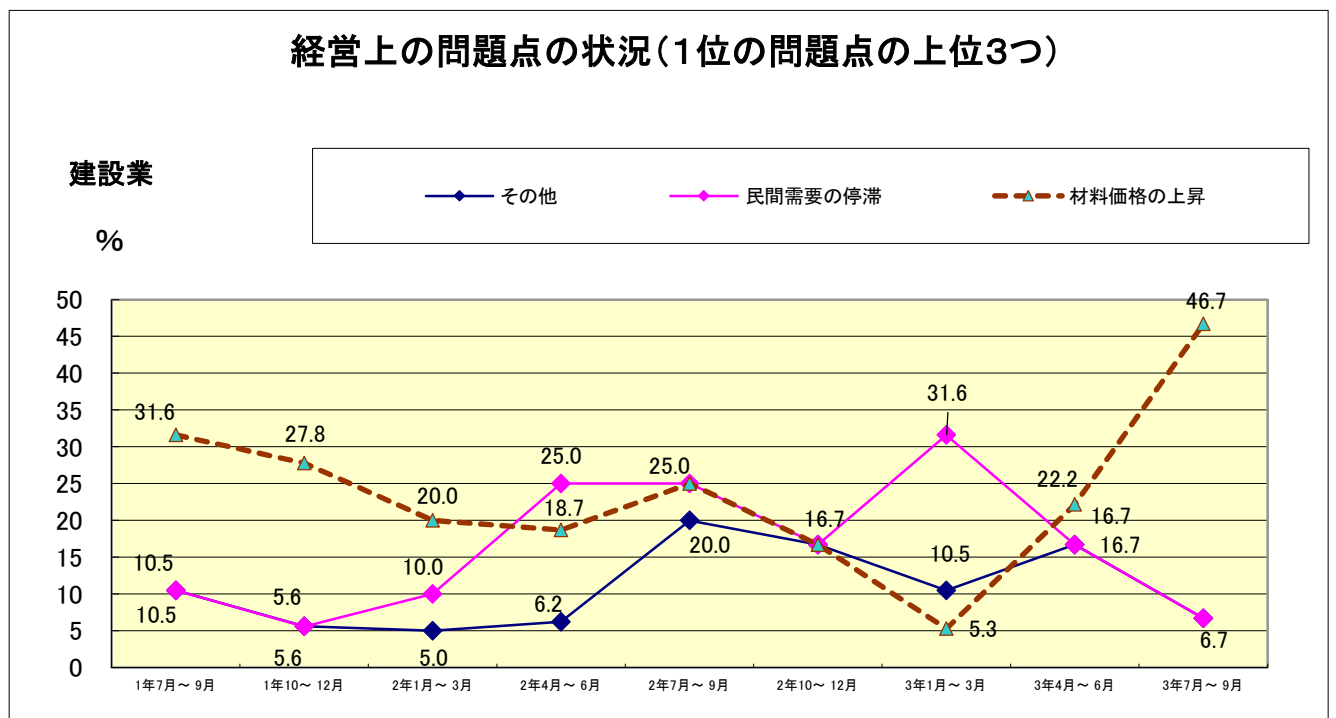
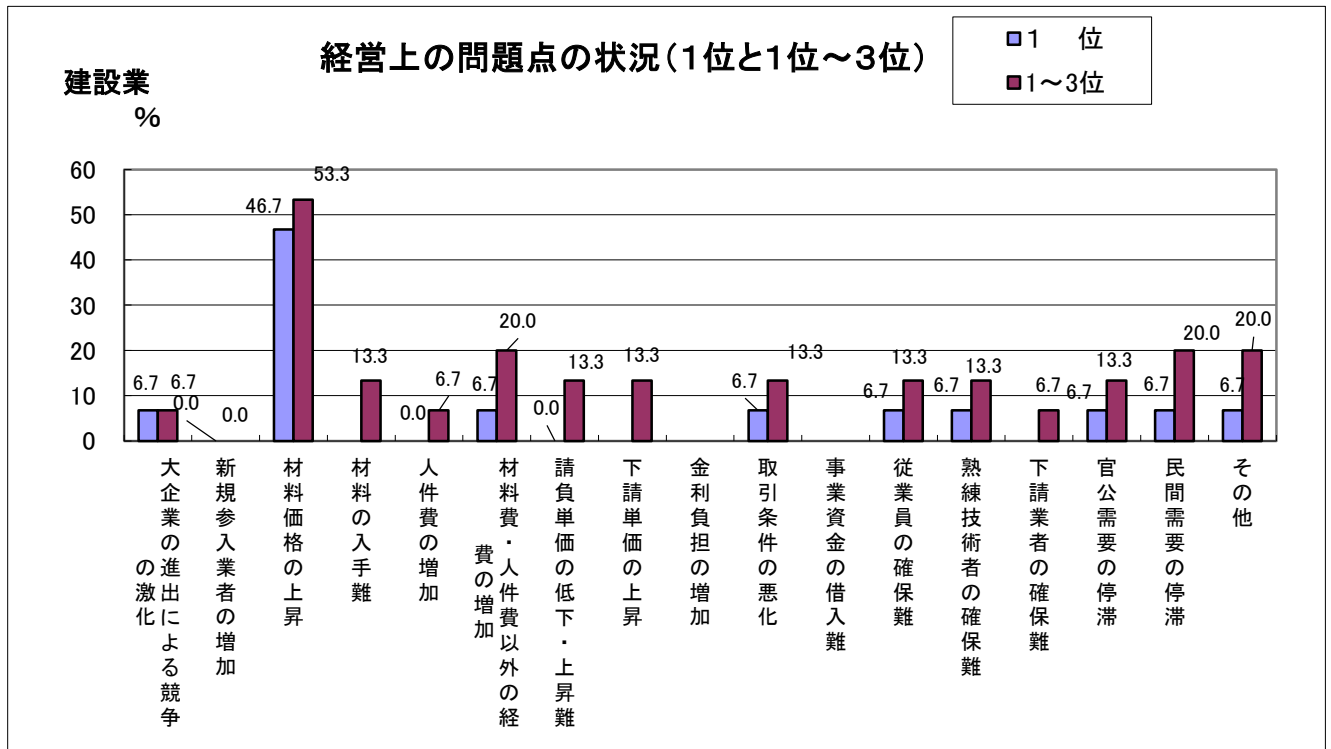
(4) 設備投資の推移

当期の設備投資計画は13.0%であったが、実際に投資を行った企業は8.7%であった。次の四半期に設備投資を計画している企業は4.3%という結果となっている。投資対象は建物となっている。





(5) 経営上の問題点


経営上の問題点について、(1位グループ)で回答が多かったのは、1位が「材料価格の上昇」、2位が同率で、「民間需要の停滞」、「官公需要の停滞」、「従業員の確保難」、「その他」等となっている。(1位～3位グループ)も、1位が「材料価格の上昇」、2位が同率で、「民間需要の停滞」、「材料費・人件費以外の経費の増加」、「その他」であった。前回同様、「材料価格の上昇」が1位となっている。



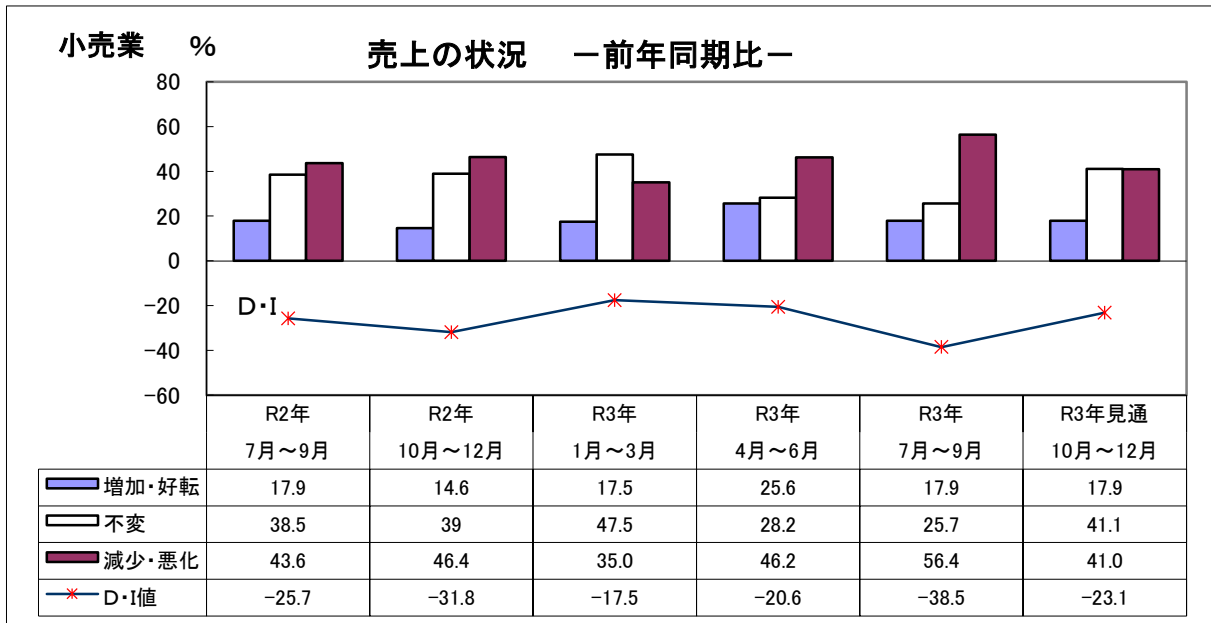
IV 小売業の景況

(1) 売上額の推移



3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
	
雨	曇時々雨
▲ 38.5	▲ 23.1

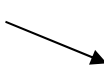
傾 向


当期の売上のD・Iは-38.5ポイントで、直前期の-20.6ポイントより悪化した。「増加・好転」とする企業が減少し、「減少・悪化」とする企業が増加したためである。客数、客単価は悪化している。次の四半期は、「増加・好転」の企業は当期と同じであるが、「減少・悪化」の企業が減少するため、D・Iは当期より改善を見込んでいる。

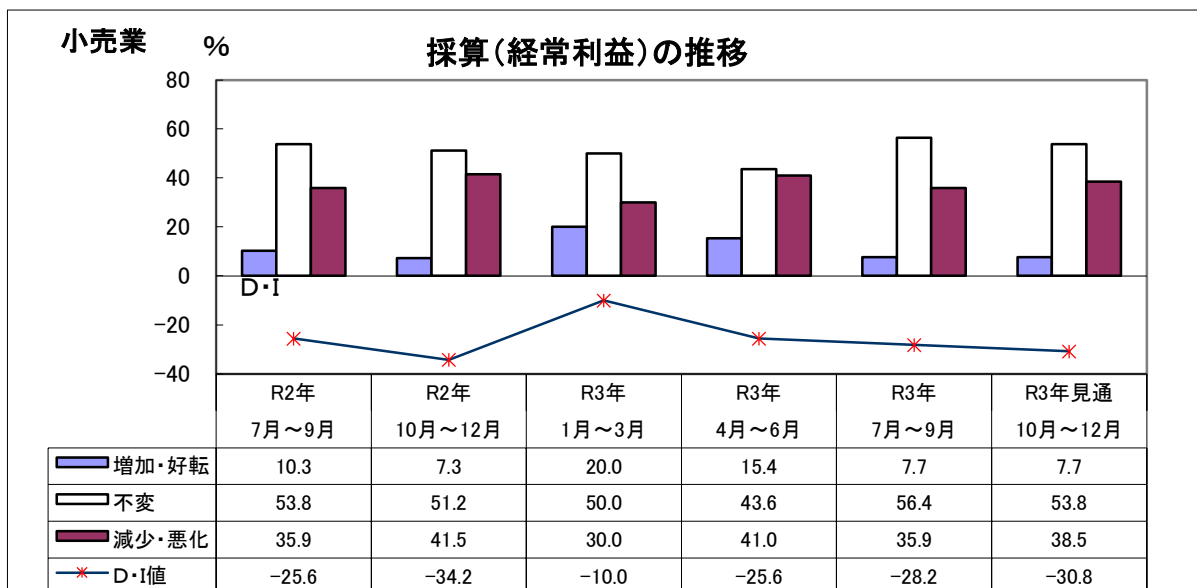


(2) 採算(経常利益)の推移



3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
	
曇時々雨	雨
▲ 28.2	▲ 30.8

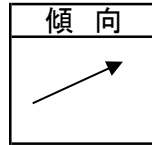
傾 向


当期の採算のD・Iは-28.2ポイントで、前期より悪化した。「減少・悪化」とする企業が減少したが、「増加・好転」とする企業も減少したためである。次の四半期は「増加・好転」の企業は当期と同じで、「減少・悪化」とする企業が増加するため、D・Iは当期より悪化し-30.8ポイントとなっている。

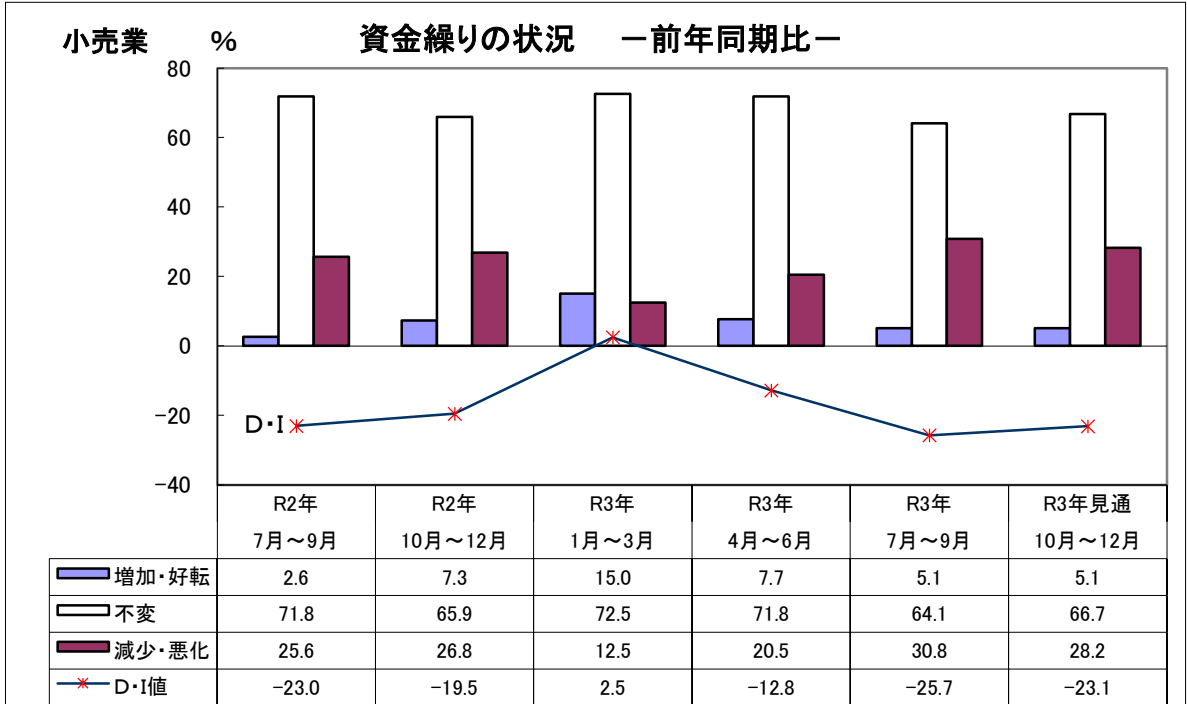


(3) 資金繰りの推移

3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
	
曇時々雨	曇時々雨
▲ 25.7	▲ 23.1



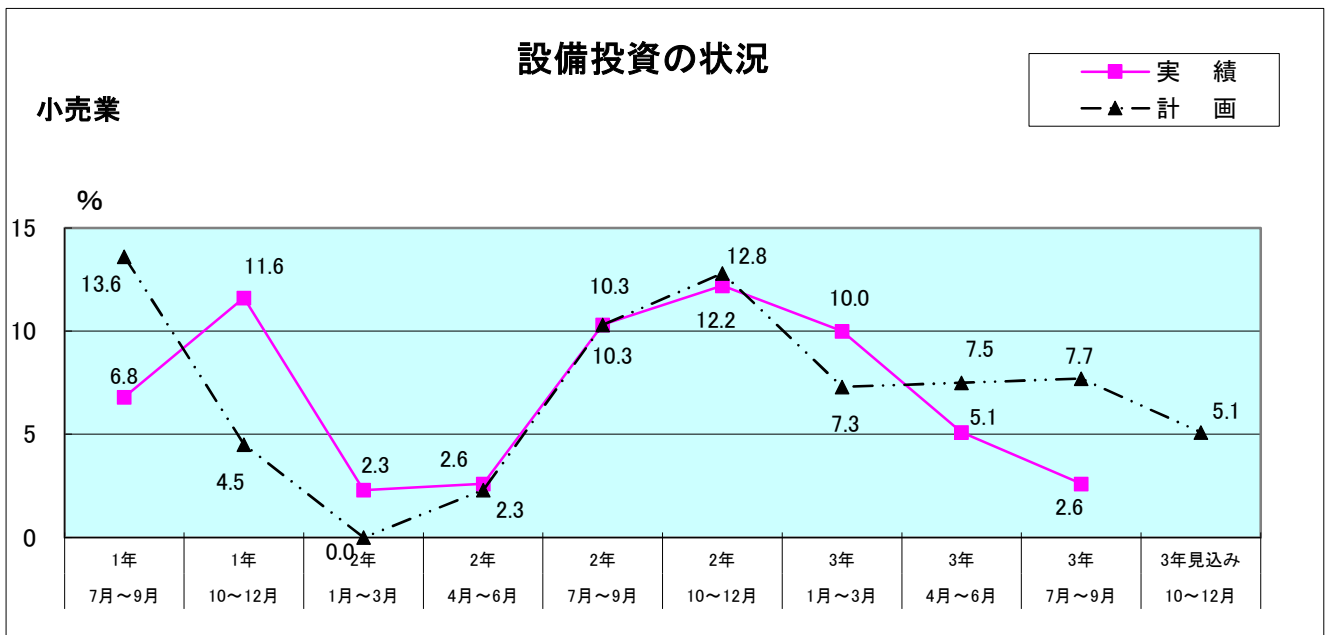
当期の資金繰りのD・Iは-25.7ポイントで、直前期から悪化した。「増加・好転」とする企業が減少し、「減少・悪化」とする企業が増加したためである。次期四半期は「増加・好転」の企業は当期と同じであるが、「減少・悪化」の企業が減少するため、D・Iは当期より改善を見込んでいる。



(4) 設備投資の推移

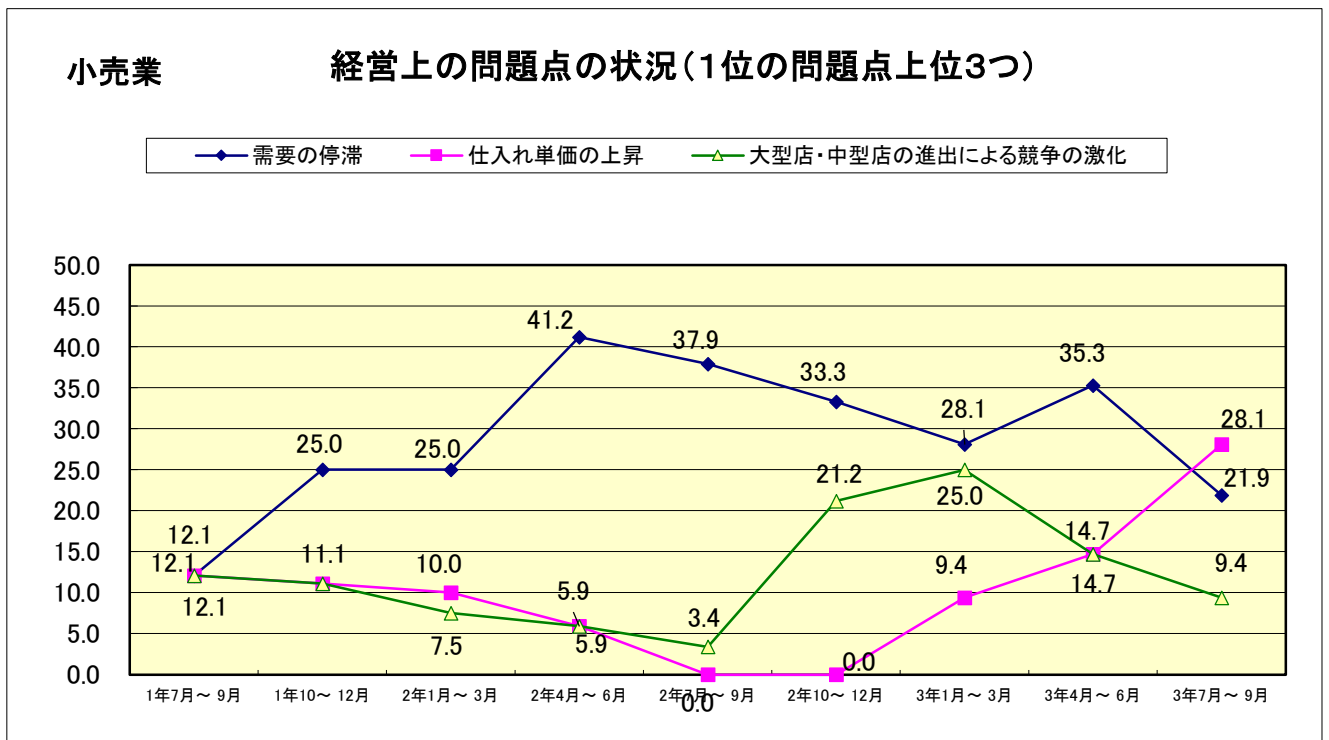
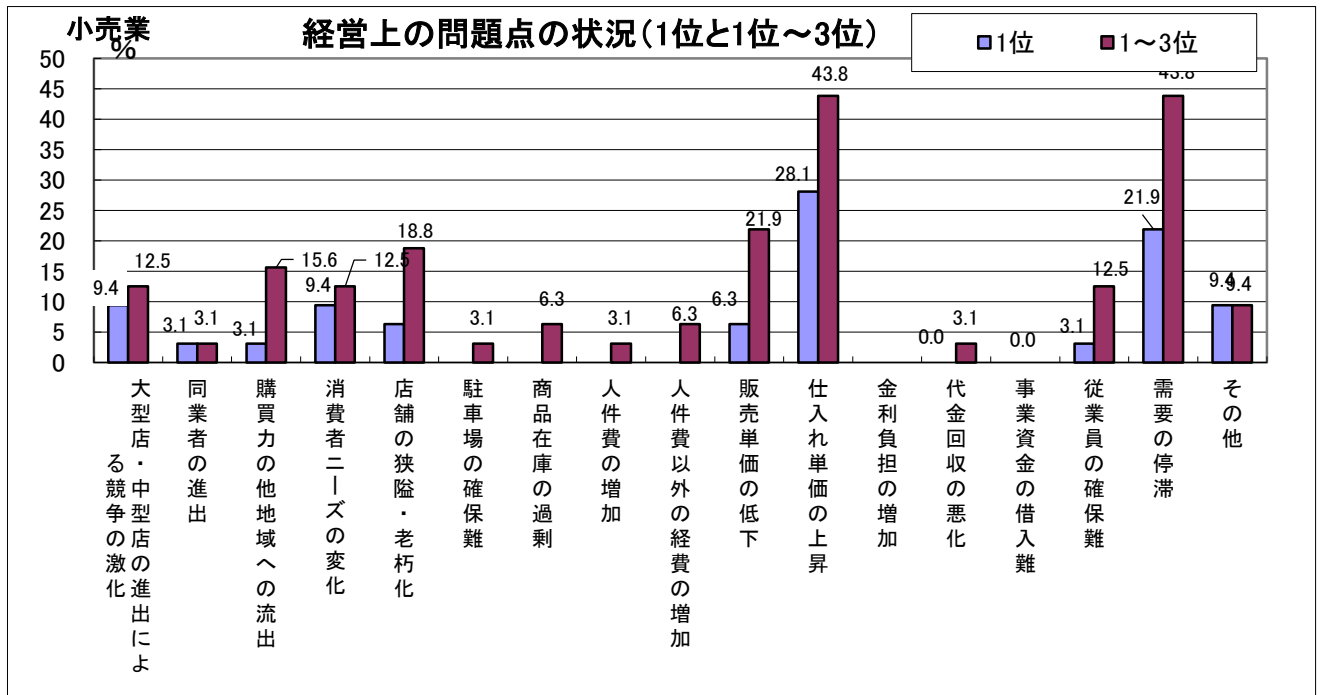
設備投資は7.7%の企業が計画し、実際に実施した企業は2.6%となった。投資対象はOA機器となっている。

次の四半期の見通しは、設備投資を計画している企業は5.1%となっている。





(5) 経営上の問題点


経営上の問題点について、回答が多かったのは、(1位グループ)では、1位が「仕入単価の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が同率で「大型店・中型店の進出による競争の激化」、「消費者ニーズの変化」、「その他」であった。(1位から3位グループ)では、1位が同率で「需要の停滞」、「仕入れ単価の上昇」、2位が「販売単価の低下」、3位が「店舗の狭隘・老朽化」であった。今回、新しい傾向として「仕入単価の上昇」が1位となった。



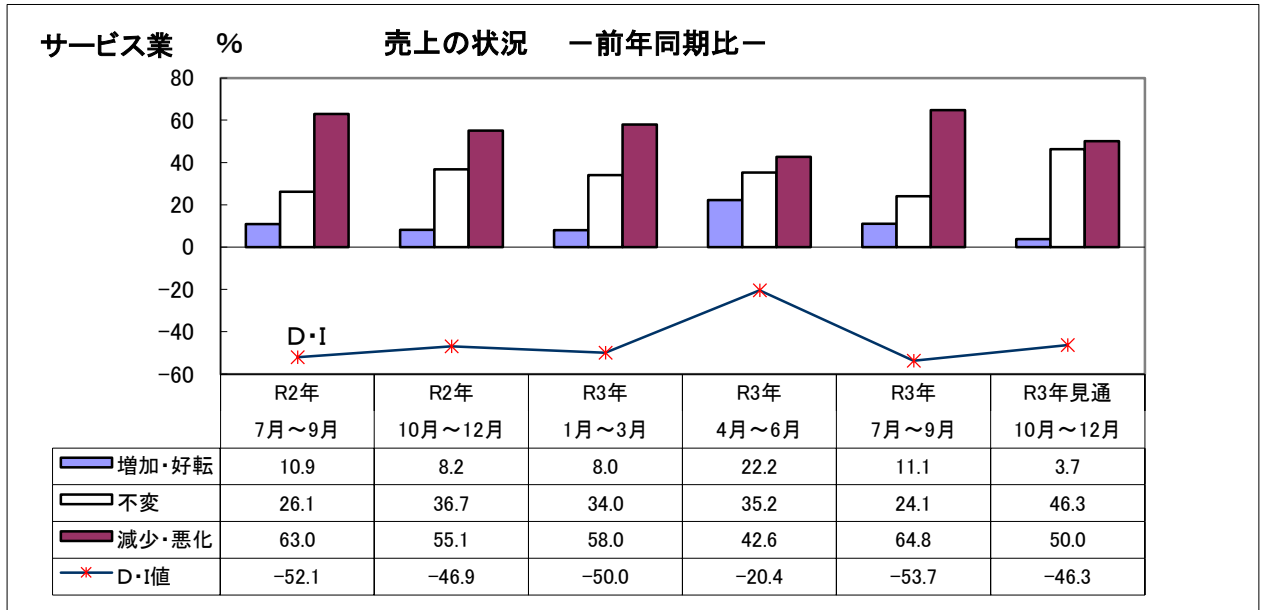
V サービス業の景況

(1) 売上額の推移



3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
	
雨	雨
▲ 53.7	▲ 46.3


傾向


当期の売上のD・Iは、-53.7ポイントと前期より悪化した。「増加・好転」の企業が減少し、「減少・悪化」の企業が増加したためである。客単価、利用客数が悪化した。次の四半期は「増加・好転」の企業が減少するが、「減少・悪化」の企業も減少するため、D・Iは当期より改善する。

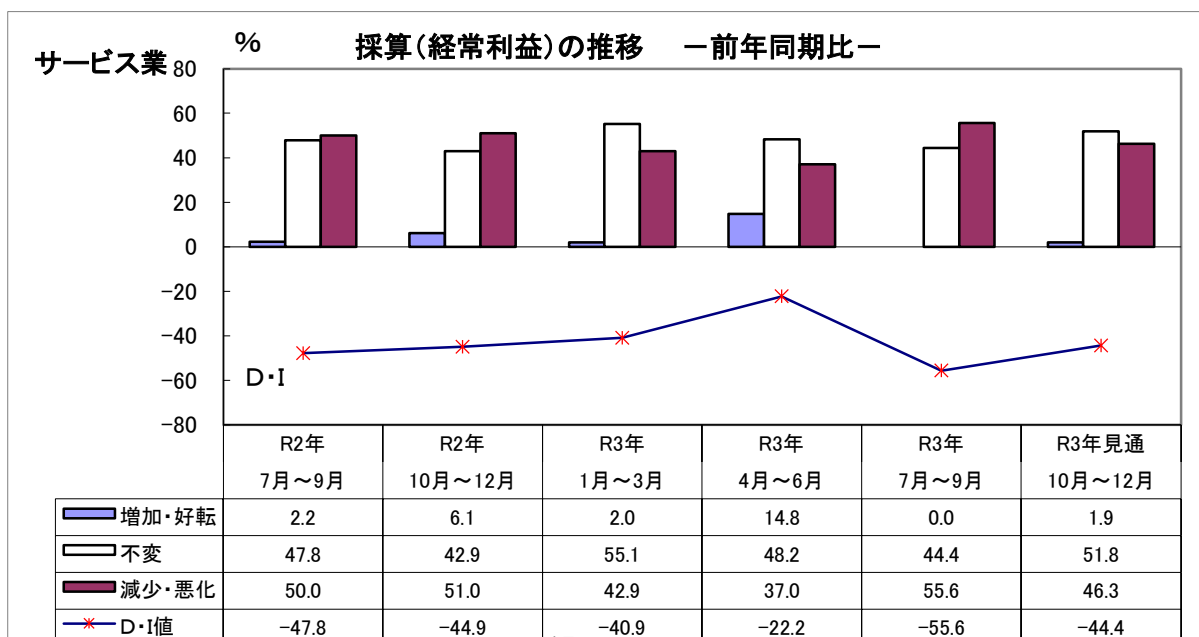


(2) 採算(経常利益)の推移



3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
	
雨	雨
▲ 55.6	▲ 44.4

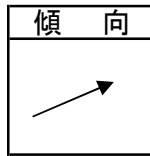
傾向


当期の採算のD・Iは、-55.6ポイントで、前期より悪化した。「増加・好転」の企業が減少し、「減少・悪化」の企業が増加したためである、次の四半期は「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少するため、D・Iは当期より改善する見込みとなっている。

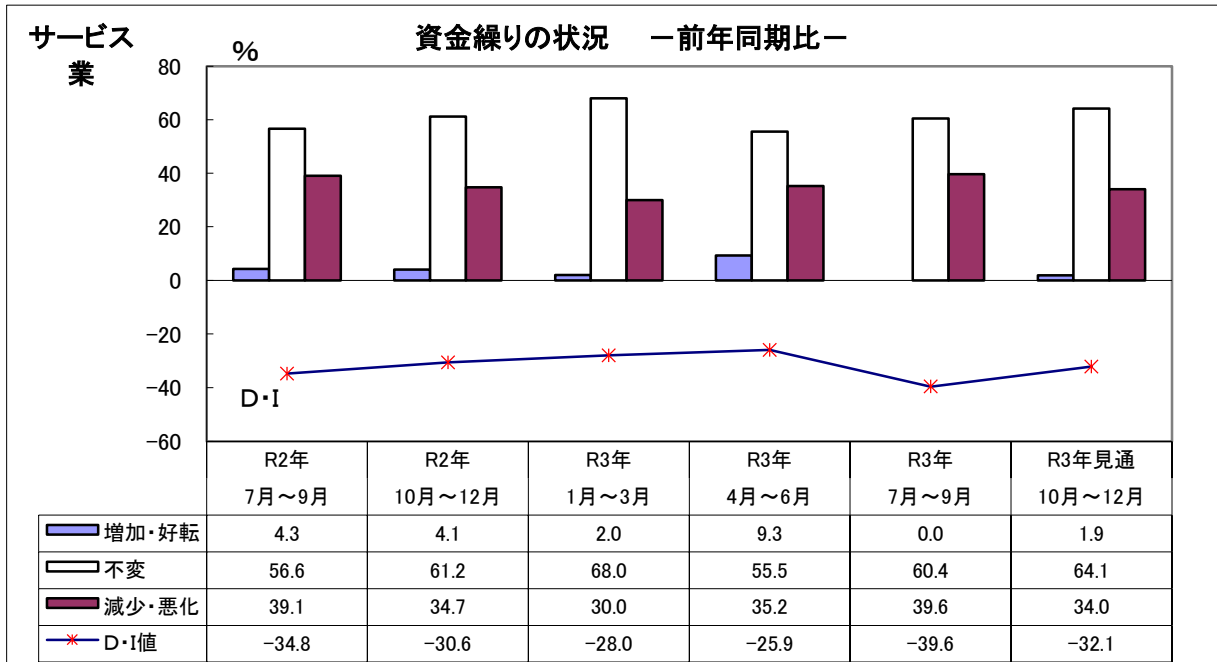


(3) 資金繰りの推移

3年7月～9月 (実績)	3年10月～12月 (見通し)
	
雨	雨
▲ 39.6	▲ 32.1

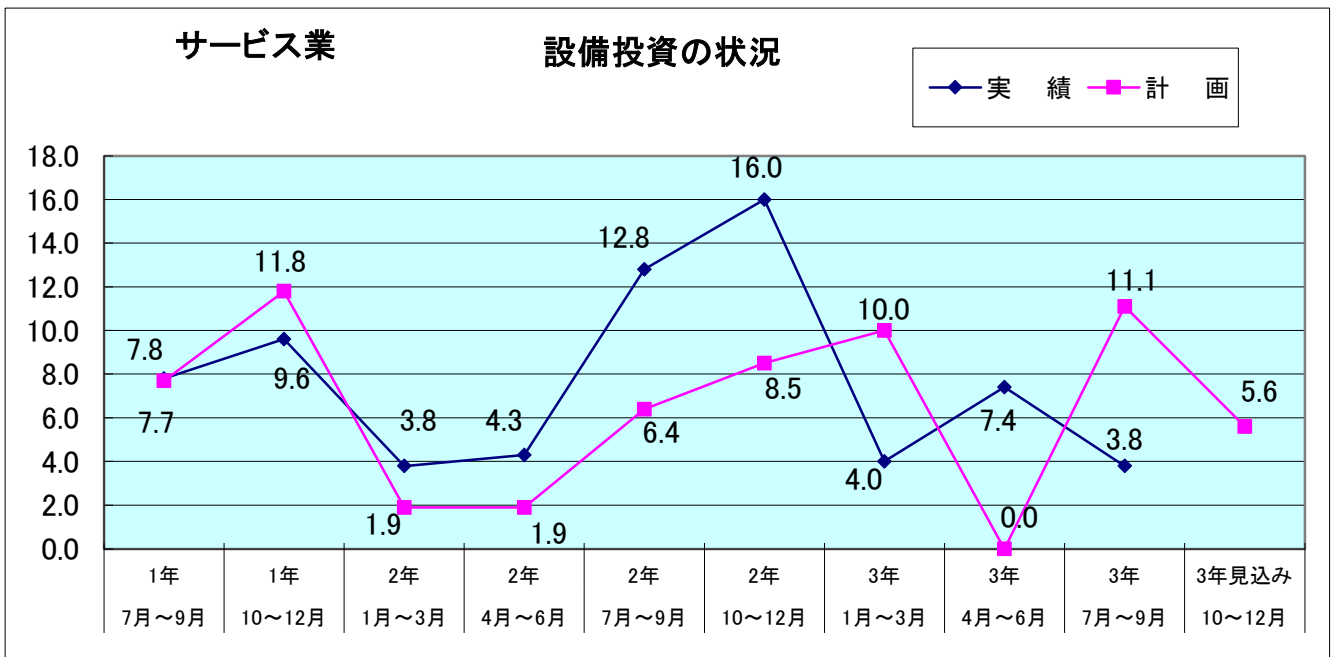


当期の資金繰りのD・Iは、-39.6ポイントと前期から悪化した。「増加・好転」とする企業が減少し、「減少・悪化」とする企業が増加したためである。次の四半期は「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少するため、資金繰りのD・Iは、当期より改善する。



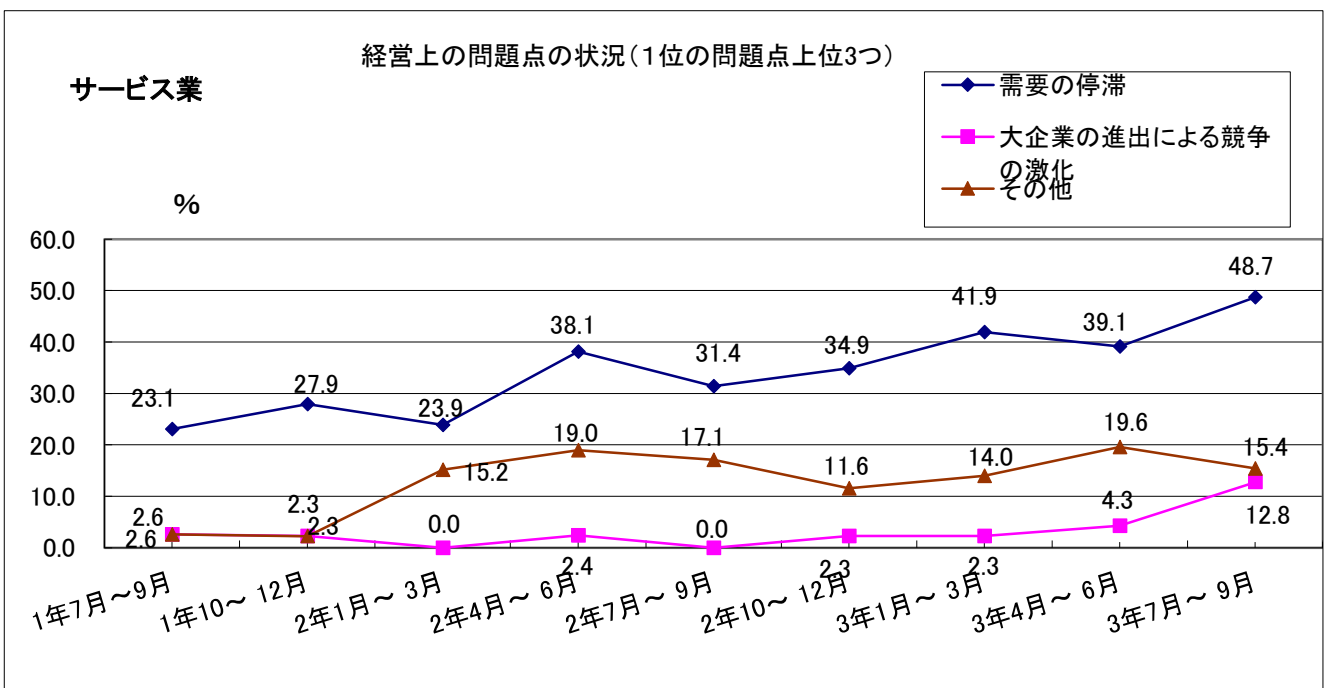
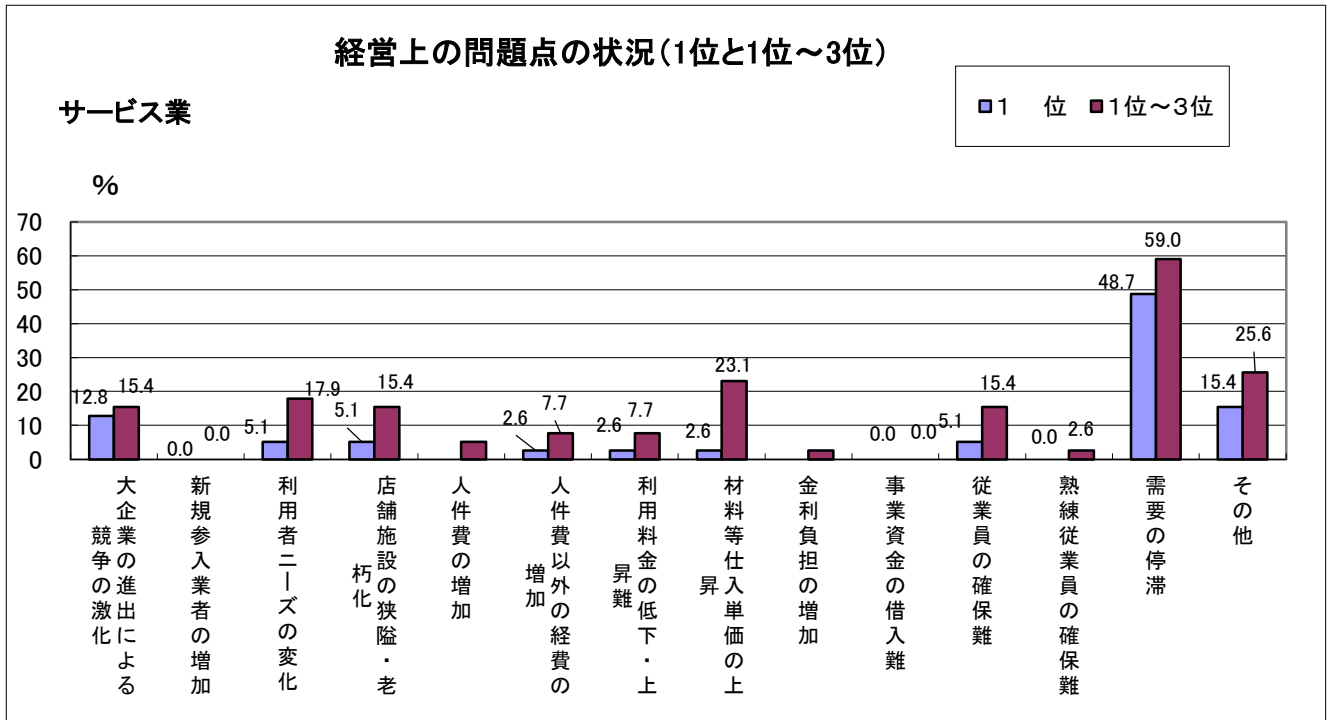
(4) 設備投資の推移

当期は、設備投資を計画していた企業は11.1%であったが、実施したのは計画を下回る3.8%の企業であった。内容は車両運搬具、その他となっている。次の四半期に設備投資を計画している企業は、5.6%との結果となっている。



(5) 経営上の問題点

経営上の問題点(1位グループ)で、回答が多かったものは1位が「需要の停滞」で、2位が「その他」、3位が「大企業の進出による競争の激化」となっている。(1位から3位グループ)では、1位が「需要の停滞」、2位が「その他」、3位が「材料等仕入単価の上昇」となっており、(1位グループ)と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて「需要の停滞」が1位となっている。



産業別主要景況項目状況

宮崎県商工会連合会

業種			実績				見通し	
			令和2年	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
			7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
製造業	売上(加工)額	増加・好転	17.9	22.6	19.4	21.4	31.0	31.0
		不変	14.3	19.4	35.5	39.3	27.6	38.0
		減少・悪化	67.8	58.0	45.1	39.3	41.4	31.0
		D・I値	▲ 49.9	▲ 35.4	▲ 25.7	▲ 17.9	▲ 10.4	0.0
	採算(経常利益)	増加・好転	14.3	22.6	19.4	10.7	13.8	13.8
		不変	35.7	35.5	51.6	60.7	48.3	55.2
		減少・悪化	50.0	41.9	29.0	28.6	37.9	31.0
		D・I値	▲ 35.7	▲ 19.3	▲ 9.6	▲ 17.9	▲ 24.1	▲ 17.2
	資金繰り	増加・好転	14.3	16.1	12.9	7.1	6.9	13.8
		不変	46.4	51.6	64.5	85.8	69.0	65.5
		減少・悪化	39.3	32.3	22.6	7.1	24.1	20.7
		D・I値	▲ 25.0	▲ 16.2	▲ 9.7	0.0	▲ 17.2	▲ 6.9
設備投資	計画	17.2	14.3	22.6	19.4	14.3	27.6	
	実行	14.3	3.2	9.7	21.4	10.3		
建設業	完成工事(請負工事)額	増加・好転	9.1	12.5	16.7	30.4	17.4	0.0
		不変	68.2	54.2	41.6	34.8	43.5	73.9
		減少・悪化	22.7	33.3	41.7	34.8	39.1	26.1
		D・I値	▲ 13.6	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 4.4	▲ 21.7	▲ 26.1
	採算(経常利益)	増加・好転	0.0	4.2	16.7	13.0	8.7	4.3
		不変	86.4	79.1	58.3	65.3	60.9	78.3
		減少・悪化	13.6	16.7	25.0	21.7	30.4	17.4
		D・I値	▲ 13.6	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 8.7	▲ 21.7	▲ 13.1
	資金繰り	増加・好転	0.0	4.2	13.0	8.7	0.0	0.0
		不変	77.3	79.1	78.3	82.6	78.3	78.3
		減少・悪化	22.7	16.7	8.7	8.7	21.7	21.7
		D・I値	▲ 22.7	▲ 12.5	4.3	0.0	▲ 21.7	▲ 21.7
設備投資	計画	27.3	4.5	12.5	8.3	13.0	4.3	
	実行	9.1	12.5	0.0	13.0	8.7		
小売業	売上額	増加・好転	17.9	14.6	17.5	25.6	17.9	17.9
		不変	38.5	39.0	47.5	28.2	25.7	41.1
		減少・悪化	43.6	46.4	35.0	46.2	56.4	41.0
		D・I値	▲ 25.7	▲ 31.8	▲ 17.5	▲ 20.6	▲ 38.5	▲ 23.1
	採算(経常利益)	増加・好転	10.3	7.3	20.0	15.4	7.7	7.7
		不変	53.8	51.2	50.0	43.6	56.4	53.8
		減少・悪化	35.9	41.5	30.0	41.0	35.9	38.5
		D・I値	▲ 25.6	▲ 34.2	▲ 10.0	▲ 25.6	▲ 28.2	▲ 30.8
	資金繰り	増加・好転	2.6	7.3	15.0	7.7	5.1	5.1
		不変	71.8	65.9	72.5	71.8	64.1	66.7
		減少・悪化	25.6	26.8	12.5	20.5	30.8	28.2
		D・I値	▲ 23.0	▲ 19.5	2.5	▲ 12.8	▲ 25.7	▲ 23.1
設備投資	計画	10.3	12.8	7.3	7.5	7.7	5.1	
	実行	10.3	12.2	10.0	5.1	2.6		
サービス業	売上額	増加・好転	10.9	8.2	8.0	22.2	11.1	3.7
		不変	26.1	36.7	34.0	35.2	24.1	46.3
		減少・悪化	63.0	55.1	58.0	42.6	64.8	50.0
		D・I値	▲ 52.1	▲ 46.9	▲ 50.0	▲ 20.4	▲ 53.7	▲ 46.3
	採算(経常利益)	増加・好転	2.2	6.1	2.0	14.8	0.0	1.9
		不変	47.8	42.9	55.1	48.2	44.4	51.8
		減少・悪化	50.0	51.0	42.9	37.0	55.6	46.3
		D・I値	▲ 47.8	▲ 44.9	▲ 40.9	▲ 22.2	▲ 55.6	▲ 44.4
	資金繰り	増加・好転	4.3	4.1	2.0	9.3	0.0	1.9
		不変	56.6	61.2	68.0	55.5	60.4	64.1
		減少・悪化	39.1	34.7	30.0	35.2	39.6	34.0
		D・I値	▲ 34.8	▲ 30.6	▲ 28.0	▲ 25.9	▲ 39.6	▲ 32.1
設備投資	計画	6.4	8.5	10.0	0.0	11.1	5.6	
	実行	12.8	16.0	4.0	7.4	3.8		
産業全体	売上高	▲ 35.3	▲ 33.7	▲ 29.6	▲ 15.8	▲ 31.1	▲ 23.9	
	採算	▲ 30.7	▲ 27.7	▲ 17.2	▲ 18.6	▲ 32.4	▲ 26.4	
	資金繰り	▲ 26.4	▲ 19.7	▲ 7.7	▲ 9.7	▲ 26.1	▲ 21.0	
	業況	▲ 39.1	▲ 25.4	▲ 16.0	▲ 15.7	▲ 29.3	▲ 18.2	

中小企業景況調査報告書

令和3年10月発行

宮崎県商工会連合会

〒880-0013

宮崎市松橋2丁目4番31号

宮崎県中小企業会館2階

TEL 0985-24-2055(代表)

FAX 0985-25-0036